

2020
4/1 (水)
山口市
初ライブ!

旅する音楽家
今ここに集い
旅の向こうの音
鳴らす

風の音楽家 きたる!

春の風ライブ

平魚 泳 ウクレレ・ジャンベ・歌 岡林立哉 馬頭琴・ホーミー 重松壮一郎 ピアノ

2020.4.1 (水) 18:30 開演 (30分前開場) クリエイティブ・スペース赤れんが ホールII

[料金] 一般2500円 小・中学生1500円 当日券は各500円UP

[主催] 認定NPO法人こどもステーション山口(C・S赤れんが指定管理者) [共催] 山口市 [問合せ先] クリエイティブ・スペース赤れんが TEL 083-928-66

風の音楽家、きたる

旅する音楽家 今ここに集い 旅の向こうの音 鳴らす

大地に響くうたとジャンベ、天空に広がるホーミーと馬頭琴、森の祈りのピアノ。

国内外にて活躍する3人の旅するアーティストが結成した「旅の音楽家」。

ジャンルも国籍も越えた新しい〈自然な音楽〉が、忘れかけていた心の原風景を呼び覚ます。

初の山口市のライブではどんな旅の音が紡ぎ出されるでしょうか…



平魚 泳

ウクレレ、ジャンベ、歌

唯一無二の音楽とパフォーマンスで、道ゆく人の心をつかむ路上の音楽家

タイコ(アフリカのジャンベ)を叩いて、横笛吹いて、ウクレレ弾いて、歌うストリートミュージシャン。ウクレレ教室、作曲、アレンジ、舞台役者、舞台音楽など多彩にこなす。オーストラリア、韓国、台湾でも演奏活動を展開。



岡林立哉

馬頭琴、ホーミー

ホーミーと馬頭琴の宇宙的な響きで、生音の力を追求するさすらいの演奏家

日本で数少ないホーミー・馬頭琴の使い手。世界30カ国を縦断する長い旅生活で培った、素朴で伸びやかな馬頭琴の音色と、繊細かつ力強いホーミーの音は、国や民族を超えて、幅広い支持を得ている。



重松壮一郎

ピアノ

地球の息するものすべてと共鳴し、音に命を吹き込む自然派ピアニスト

「生きとし生けるものすべてに向けた音」をテーマに、即興演奏とオリジナル曲を主体とした独自スタイルで、国内外にて年間150回近いライブを行う。アメリカ、オーストラリア、タイ、イタリアなど海外でも多数公演。

このライブで出会える、ちょっとめずらしい楽器と歌声

馬頭琴とホーミー



〈馬頭琴のヘッド部分〉

〈馬頭琴〉

馬頭琴 馬頭琴は、モンゴルを代表する伝統的な弦楽器です。現在手にすることの出来る馬頭琴のボディはほとんどが木製で、ネックの一番上には必ず馬の頭の彫刻がついています。弦は2本、正確には馬の尻尾の毛を束ねたものが2束。弓も馬の尻尾の毛で、バイオリンなどの弓と構造的には変わりありません。

馬頭琴の音は、土臭く素朴な音、モンゴル高原に住む遊牧民の手のひらのような、乾いたあたたかい音です。

ホーミー 一人の人間から一度に2つ以上の音が聞こえるという、世にも不思議な歌唱法です。

モンゴル、トゥバ、中央アジアの山岳地帯に住むいくつかの少数民族グループに伝承され、各民族によって、また細かいテクニックの違いによって様々な呼び名がありますが、モンゴル民族のものをホーミーと呼びます。

馬頭琴とホーミー、その音色を聴けば、まぶたの裏にモンゴルの大草原と遊牧民の情景が広がります。

《チケット料金》全席自由

一般2,500円 小・中学生1,500円 当日券はいずれも500円UP(残席がある場合のみ販売)

《チケット発売日》2月8日(土) 10:00~

《プレイガイド》C・S赤れんが、山口情報芸術センター、山口市民会館、文楽堂山前店、アスピラート、サンパークあじす、こどもステーション山口事務局

問い合わせ クリエイティブ・スペース赤れんが(開館:9:00~17:00 休館日は月曜日・祝日の翌日)

〒753-0088 山口市中河原町5-12 TEL 083-928-6666 FAX 083-928-6611

✉ renga-ya@c-able.ne.jp <http://www.akarenga.justpbps.jp/>



チーム OIEMASE「桜めぐりとお茶めぐり」

桜めぐりティー 300円(お菓子付き)

3/17(火)~4/5(日) 赤れんがロビーにて

「桜めぐりとお茶めぐり」はチーム OIEMASE(大内文化特定地域の4施設=赤れんが、大路ロビー、葉香亭、山口ふるさと総合伝承センター)が行なう共同イベントです。赤れんがではライブ「風の音楽家、きたる!」と桜めぐりティーでおもてなしをします。

また、収益の一部を東日本復興支援として寄付いたします。

